



第77号
H27年2月18日

発行 結城地域農業改良普及センター
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>

結城地域農村青少年プロジェクト実績発表会を開催！

1月20日、結城地域青年農業者クラブ連絡協議会（地ク連）が中心となり、平成26年度の結城地域農村青少年プロジェクト実績発表会を開催し、後継者クラブ員や関係機関等54名が参加しました。

はじめに、結城市農村青少年クラブと鬼怒4Hクラブそれぞれが活動の取り組み等を紹介し、充実したクラブ活動の様子が伺えました。

次に、プロジェクト発表の部では、結城市農村青少年クラブの湯本晃弘氏が「ハクサイの堆肥基肥代替施用に挑戦！！」と題して、同クラブの養豚農家の堆肥を利用したコスト削減の取り組みと、鬼怒4Hクラブの金安寛之氏が「抑制栽培におけるズッキーニ品種比較試験」と題して、2品種の品種特性の調査結果について発表しました。また、結城市の稲葉辰徳氏は「一歩一歩着実に！」と題して、現在の心境や今後の目標について意見発表しました。

そして、坂東市の農業経営士染野実氏を講師に「今後の農業経営のポイント～若手農家へのエール～」と題して、儲かる農業のための3つのポイント（①圧倒的に反収を上げること②生産コストを把握すること③高く売る努力をすること）などについて講演していただきました。アンケートの結果から、講演を聞いた後継者ク

ラブ員等は染野氏の話に大きな刺激を受けたようでした。

発表会終了後に行われた情報交換会では、栽培品目や栽培管理について話題にしながら交流を深め、さらに各自の自己紹介のなかでは今後の目標について語るなど、地域農業の担い手となる若手農家の頼もしい姿も見受けられました。

また、2月9日に茨城県庁で開催された茨城県農業青年プロジェクト実績発表会において、結城市の湯本氏が発表し、取り組み内容が評価され、7月に埼玉県で開催される関東ブロックプロジェクト発表会で発表することとなりました。

普及センターでは、今後も地ク連活動を支援することで、後継者クラブ員をはじめ、若手農家の技術力や資質向上を図っていきます。



湯本氏



染野氏の講演の様子



金安氏



稲葉氏

結城地域女性農業士会総会および先進地研修

1月23日、結城地域女性農業士会は総会および研修会を開催し、会員10名・OB5名が参加しました。今回は繭とこんにゃくいもの生産量が全国1位である群馬県を訪れ、富岡製糸場とこんにゃくパーク、県内の直売所の視察を行いました。

富岡製糸場は、日本初の本格的な器械製糸工場で、日本の近代化だけでなく、絹産業の技術革新・交流などにも大きく貢献しました。富岡製糸場内を、解説員の説明を聞きながら見学することで非常に理解を深めることが出来ました。こんにゃくパークでは、生芋からこんにゃくを製造する様子を見学し、こんにゃくの様々なア

レンジ料理を試食しました。また県内の直売所では、下仁田ネギやいちごのやよいひめ等、群馬県の旬の農産物が販売されていました。今回の研修は世界遺産や群馬県の特産品について学ぶ良い機会となりました。



これからの時期、麦・水稻栽培でポイントとなること ～麦踏み・ヒメトビウンカ防除～

〈麦の栽培管理〉

麦踏みは、麦栽培で唯一の生育制御技術であり、耐寒性向上や徒長防止等により収量・品質を向上させる効果があります。基本は、3葉期（分けつ始期）～茎立ち期までに、年内1～2回・年明け1～2回の実施です。本県の農業研究所の研究結果では、年内と年明けに1回ずつ麦踏みを実施したところ、10aあたり約30kgの増収につながっています。なお、茎立ち期以降の麦踏みは、遅れ穂の発生等により収量・品質が低下するため行わないでください。

病害虫ノート レタスベと病 冷涼・多湿が大好き

冷涼・多湿条件を好む病害で、秋から春にかけてのトンネル栽培や施設栽培で発生が多く、特に露地では多雨時に多発します。感染すると葉に黄色の病斑が形成され、更に葉の裏側には白いカビが発生します。

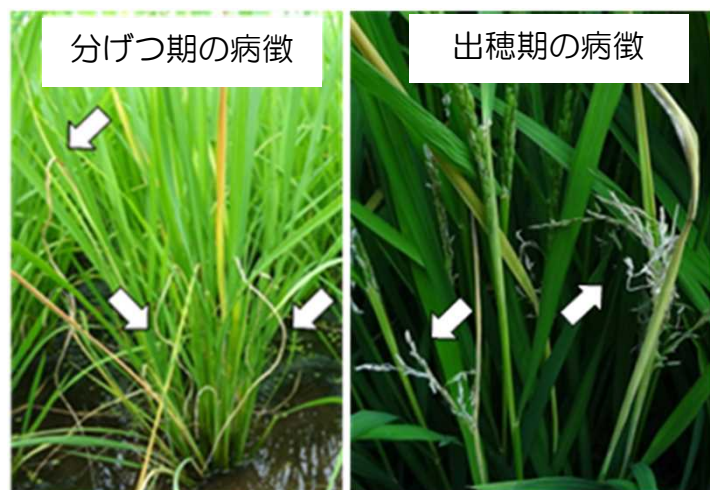
この病原菌は、空気や水滴を介して伝染するので、感染予防のためには十分な換気と薬剤散布がポイントです。

今年の春レタスでは、育苗期の発病が多かったので、例年以上に注意してください。



〈水稻の栽培管理〉

近年発生が増加しているイネ縞葉枯病の病原ウイルスを媒介するヒメトビウンカの防除を実施してください。省力的な防除方法として、田植え前の育苗箱に施用するタイプの農薬が販売されています。特に昨年発生の多かった地域では、残効（薬剤の殺虫効果が持続する期間）が長いものを選ぶことがポイントです。



分けつ期

黄緑～黄白色の縞状の斑紋を生じ、こより状に垂れ下がりが枯死する。

出穂期

穂は出すくみとなり枯死する。穎は奇形となることが多い。

★編集者より★ 同期会で、県内各地の食材を持ち寄って鍋パーティーをしました。本県の農産物の豊かさに改めて気づかされました。ちなみに、私は管内産の立派でおいしいハクサイを持っていきました。（後藤）